

霧島神宮本殿・幣殿・拝殿

1 所在地

鹿児島県霧島市霧島田口2608番地5

2 指定年月日

令和4年2月9日

3 特徴

霧島山の中腹に鎮座する。あまてらすおおみかみ天照大神の神勅を受けてたかちほのみね高千穂峰に天降ったとするにぎのきこと瓊瓊杵尊を主祭神とし、現在の社殿は正徳5年(1715)に島津吉貴によって復興されたものである。境内は、勅使殿から登廊下を介し、拝殿、幣殿を経て、最も高い位置に本殿を構える。とくに拝殿から本殿へは、急勾配の階段で段差をつけて高低差を表現する躍動感あふれた構成をもつ。規模の大きな本殿をはじめ、いずれの建物も質がよく、要所を丸彫彫刻や絵画で装飾し、極彩色、漆塗、朱塗で仕上げる豪華な仕様であり、近世に発達した建築装飾意匠の集大成の一つである。

東アジア圏に分布し、我が国では南九州に伝わる龍柱の代表的な事例であり、文化史的な意義も深い。



提供：宗教法人霧島神宮